



平成27年に開催した議会の状況を報告します

議会開催状況

会議	会期(日)	本会議日数(日)	委員会日数(日)				傍聴者数(人)
			総産	文教	予決	後期	
第1回定例会	27	7	1	1	4		69
第1回臨時会	1	1					0
第2回定例会	21	6	1	1	1		120
第3回定例会	24	6	1	1	4		69
第4回定例会	21	6	1	1	1	3	74
合計	94	26	4	4	10	3	332

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予決…予算決算常任委員会 後期…後期基本計画審査特別委員会

議員提出付議事件 (件)

区分	議決態様別					計
	可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	
条例	2	0	0	0	0	2
規則	1	0	0	0	0	1
意見書	0	0	0	0	0	0
決議	1	0	0	0	0	1
その他	9	1	0	0	0	10
計	13	1	0	0	0	14

市長提出付議事件 (件)

付議事件別		議決態様別			
区分		可決	否決	継続審議	計
地方自治法第96条付議事件	条例	33	0	0	33
	予算	21	0	0	21
	決算	6	0	0	6
	その他	15	0	0	15
地方自治法第179条(専決処分)		4	0	0	4
計		79	0	0	79

※「可決」は、認定、同意、承認等の議決を含みます。

質問一 行政改革の必要性は。
 二 財政の健全化の在り方は。
 三 組織のスリム化とは。
 四 職員意識の活性化とは。
 五 計画の実効性について。
 答弁一(市長) 急速に高齢化し、
 税収の大幅な改善も見込めない中、
 本市の魅力を高めていくためには、
 債の発行と財政調整基金への積立
 財政の健全化や組織の効率化に取り組み、事業費用や人員などの行政資源を捻出する必要がある。
 二 より多くの自主財源と人件費や扶助費などの義務的な支出の削減によって、政策的な事業の財源を確保するとともに、計画的な市債の発行と財政調整基金への積立

を行うことである。
 三 職員数削減などの組織規模の面と、事業見直しなどによる業務量の面からのスリム化がある。重要な施策や市民サービスの後退を招くことのないよう、バランスを考慮して進める必要がある。
 四 職員の意識や職場風土を改革に意欲的なものに高めることが不可欠であり、研修の実施、職員提案制度の整備、グループ研究と発表制度の導入等を検討していく。
 五 数値目標と効果額、活動指標等を設定するほか、毎年度の取組の検証と必要な修正等により実効性を担保したい。

A

スリムで効果的な行政運営を目指す

Q

行政改革推進計画について

高橋 剣二 議員

